

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公開番号】特開 2018-104710 (P2018-104710A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2018-13026 (P2018-13026)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 121/00 (2006.01)

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 183/04

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/40

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 3 日 (2019.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み 25 μ m のポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、23
で 30 分後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度 180 度、剥離速度
6000 mm / 分において剥がした際の剥離力が 0.08 N / 25 mm 以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコン系添加剤および / またはフッ素系添
加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコン系添加剤が、水酸基含有シリコン系化合物、架橋性官能基含有シリコー
ン系化合物から選ばれる少なくとも 1 種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ
素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含

有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも１種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー１００重量部に対する、該シリコン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、０．０１重量部～５０重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項２】

前記粘着剤層に厚み２５μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、２３で３０分後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度１８０度、剥離速度３００mm／分において剥がした際の剥離力が０．０２N／２５mm以下である、請求項１に記載の表面保護フィルム。

【請求項３】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み２５μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、８０で７日間後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度１８０度、剥離速度６０００mm／分において剥がした際の剥離力が０．３５N／２５mm以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコン系添加剤および／またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコン系添加剤が、水酸基含有シリコン系化合物、架橋性官能基含有シリコン系化合物から選ばれる少なくとも１種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも１種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー１００重量部に対する、該シリコン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、０．０１重量部～５０重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項４】

前記粘着剤層に厚み２５μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、８０で７日間後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度１８０度、剥離速度３００mm／分において剥がした際の剥離力が０．０７N／２５mm以下である、請求項３に記載の表面保護フィルム。

【請求項５】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み１０００μmのガラス板を貼り合せ、２３で３０分後に、該ガラス板から、剥離角度１８０度、剥離速度６０００mm／分において剥がした際の剥離力が０．１３５N／２５mm以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコン系添加剤および／またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコン系添加剤が、水酸基含有シリコン系化合物、架橋性官能基含有シリコン系化合物から選ばれる少なくとも１種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも１種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー１００重量部に対する、該シリコン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、０．０１重量部～５０重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項 6】

前記粘着剤層に厚み $1000\text{ }\mu\text{m}$ のガラス板を貼り合せ、23 で30分後に、該ガラス板から、剥離角度 180 度、剥離速度 300 mm/分 において剥がした際の剥離力が 0.023 N/25 mm 以下である、請求項 5 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 7】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み $1000\text{ }\mu\text{m}$ のガラス板を貼り合せ、80 で7日間後に、該ガラス板から、剥離角度 180 度、剥離速度 6000 mm/分 において剥がした際の剥離力が 0.35 N/25 mm 以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコーン系添加剤および/またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコーン系添加剤が、水酸基含有シリコーン系化合物、架橋性官能基含有シリコーン系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコーン系添加剤および/または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー100重量部に対する、該シリコーン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、 0.01 重量部～ 50 重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項 8】

前記粘着剤層に厚み $1000\text{ }\mu\text{m}$ のガラス板を貼り合せ、80 で7日間後に、該ガラス板から、剥離角度 180 度、剥離速度 300 mm/分 において剥がした際の剥離力が 0.05 N/25 mm 以下である、請求項 7 に記載の表面保護フィルム。

【請求項 9】

残存接着率が 50% 以上である、請求項 1 から 8 までのいずれかに記載の表面保護フィルム。

【請求項 10】

前記粘着剤組成物が脂肪酸エステルを含む、請求項 1 から 9 までのいずれかに記載の表面保護フィルム。

【請求項 11】

請求項 1 から 10 までのいずれかに記載の表面保護フィルムが貼着された光学部材。

【請求項 12】

請求項 1 から 10 までのいずれかに記載の表面保護フィルムが貼着された電子部材。